

陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)プロジェクト 評価票(案)

構成員名: _____

1. 成果

(1) アウトプット(結果)

アウトプットとは、「具体的にどのような結果が得られたか、プロジェクトの目標がどの程度まで達成されたのか、という直接的な成果である」と「宇宙開発に関するプロジェクトの評価指針」(以下、指針)で定められています。

「だいち」プロジェクトでは、平成 17 年 6 月の第 5 回推進部会においてサクセスクライテリアが提示されました。サクセスクライテリアでは、

陸域観測衛星技術の検証、 高分解能衛星データ実利用技術の検証の 2 つの項目について、ミニмумサクセス基準、フルサクセス基準、エキストラサクセス基準がそれぞれ設定されています。

このサクセスクライテリアに照らして、「だいち」プロジェクトで得られた結果について評価してください。

優れている 妥当 概ね妥当 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入下さい。)

(2) アウトカム(効果)

アウトカムとは、「アウトプットからもたらされた効果・効用であり、

プロジェクトの目的に照らした本質的内容についての成果である」と指針で定められています。

「だいち」プロジェクトは、(地球資源衛星 1 号(JERS-1)及び地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)による陸域観測技術を継承・改良・発展させ、地図作成、地域観測、災害状況把握、資源探査等への貢献を図ることを目的としています。そこで、

地図作成、地域観測、災害状況把握、資源探査等への貢献という観点から、「だいち」プロジェクトで得られた結果が、どの程度活用されているか

陸域観測技術という観点から、「だいち」プロジェクトで得られた結果が、どの程度継承・改良・発展されることが期待されるか

について、評価してください。

当初の見込み以上 当初の見込み通り 当初の見込みは下回るが、許容できる範囲 目的を達していない

(上記の評価根拠等コメントを記入下さい。)

(3) インパクト(波及効果)

インパクトとは、「意図していた範囲を超えた、経済的、科学技術的、社会的な影響であり、間接的成果に相当するものである」と指針で定められています。

「だいち」プロジェクトに照らし合わせれば、

- ・ 当初予定していなかった全く新しい分野での利活用や技術成
- ・ 当初予定の分野における、予想外の利活用や技術成果

などがインパクトに該当します。

「だいち」プロジェクトにおいて、このような経済的、科学技術的、社会的な影響等、現時点で注目しておくべきものについて評価して下さい。

大いに認められる ある程度認められる
特筆すべきものはない

(コメントを記入下さい。)

2. 成否の原因に関する分析

プロジェクトの過程における成功要因や課題が適切に分析され、今後への反映事項が適切に抽出されているかを評価して下さい。

妥当 概ね妥当 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入下さい。)

3. 効率性

効率性の評価は、プロジェクトの効率性と実施体制の2つの観点から行います。

(1) プロジェクトの効率性

「だいち」プロジェクトは平成10年4月の開発移行時点で、平成14年度に打上げ年度が設定されていましたが、最終的に平成17年度に打上げられました。このような変遷がありました。

スケジュールや資金計画の見直しなどのプロジェクト運営の効率性について評価して下さい。また、その他注目しておくべきものがあれば評価して下さい。

優れている 妥当 概ね妥当 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入下さい。)

(2) プロジェクトの実施体制

「だいち」プロジェクトは、JAXA インテグレーション方式で開発が進められ、運用においては、データロード制や運用観測調整会議が取り入れられました。これら本プロジェクトの実施体制が適切に機能していたか評価して下さい。

優れている 妥当 概ね妥当 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入下さい。)

4. 総合評価

上記3項目を鑑み、総合的に「だいち」プロジェクトを評価して下さい。その他、助言等があれば記載願います。

期待以上 期待通り 許容できる範囲 期待外れ

(上記の評価根拠等コメントを記入下さい。)